

二風谷ダム魚道運用開始後に遡上した親魚に由来する平成9年におけるヤマメの推定生息数は多数であり、魚道が機能したものと考えられる。

大きな出水があった場合(平成元年11月、平成4年8月・12月、平成9年8月・11月、平成13年9月、平成15年8月)、翌年のヤマメ推定生息数が少ない傾向にある。

サクラマス親魚	
平成元年春から秋	遡上・産卵
平成2年春から秋	遡上・産卵
平成3年春から秋	遡上・産卵
平成4年春から秋	遡上・産卵
平成5年春から秋	遡上・産卵
平成6年春から秋	遡上・産卵
平成7年春から秋	遡上・産卵
平成8年4月に二風谷ダム魚道運用開始 平成8年春から秋	遡上・産卵
平成9年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(真気別川)遡上障害 平成10年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(真気別川)遡上障害 平成11年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(真気別川)遡上解消 平成12年春から秋	遡上・産卵
平成13年春から秋	遡上・産卵
平成14年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(真気別川)遡上障害 平成15年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(真気別川)遡上障害 平成16年春から秋	遡上・産卵

サクラマス幼魚 (ヤマメ)	
平成元年11月出水 (ピーク 640m ³ /s) 平成2年6月調査 推定生息数(尾)	1,960
平成3年6月調査 推定生息数(尾)	14,149
平成4年6月調査 推定生息数(尾)	9,376
平成4年8月出水 (ピーク 3,310m ³ /s) 平成4年12月出水 (ピーク 390m ³ /s) 平成5年6月調査 推定生息数(尾)	4,199
平成6年6月調査 推定生息数(尾)	44,588
平成7年6月調査 推定生息数(尾)	31,699
平成8年6月調査 推定生息数(尾)	15,861
平成9年6月調査 推定生息数(尾)	49,511
平成9年8月出水 (ピーク 1,960m ³ /s) 平成9年11月出水 (ピーク 900m ³ /s) 平成10年6月調査 推定生息数(尾)	4,203
平成11年6月調査 推定生息数(尾)	3,539
平成12年6月調査 推定生息数(尾)	3,920
平成13年6月調査 推定生息数(尾)	9,152
平成13年9月出水 (ピーク 2,000m ³ /s) 平成14年6月調査 推定生息数(尾)	2,674
平成15年6月調査 推定生息数(尾)	11,374
平成15年8月出水 (ピーク 5,240m ³ /s) 平成16年6月調査 推定生息数(尾)	668
平成17年6月調査 推定生息数(尾)	2,176

サクラマスの生態は3年サイクルのため、3色に分けている。